

# 東京都豊島区（特別区）

# 就労準備支援事業

## 1 区の概要（H30年度）

人口	287,623 人
保護率	2.3 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件)	一月当たり	35.7
プラン作成件数人口10万人当(件)	一月当たり	12.7
就労支援対象者数人口10万人当(件)	一月当たり	10.2
就労・増収率(%)		103.7

## 3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約）
事業費	7,294千円（平成30年度）
理由（委託）	○多種多様な相談に応じるためには、専門的な諸制度の知識や高レベルな相談技術が不可欠であるため、プロポーザル方式により事業者を選定。
課題	○“ひきこもり中”の方に対する支援方法は模索中であるが、子ども若者課や池袋保健所及び社協（CSW）と連携し、それぞれの得意分野を交えながら取り組んでいる。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専任の就労準備支援員2名常駐体制。</li> <li>○就労基礎能力の育成のみならず、社会との関わりを断絶している状況に対し、“人との関わり”も含めた「社会参加型」の支援プランを提供。</li> <li>○個別面談をベースに、各種セミナーやワクワク感のある体験就労により出来ること・出来ないことを実感し、併せて地域参加で人と協力する・関わることの重要性を共有する。</li> <li>○就労準備支援事業による就労基礎能力を構築後、就労支援チームへバトンタッチ。引継ぎを綿密に行い、ハローワークと就労支援事業者が毎日ミーティングを行う。家計改善支援事業者も交え、生活費から逆算した適正な求人を提供し、一体的支援によるプロデュースを実施。</li> </ul>
その他特記事項	○定時制・通信制高校との連携を強化し、負の連鎖を断ち切るため、能動的に将来を考える「進路選択プログラム」も併せて実施。

## 4 事業実績（H30年度）

利用者	就職者	うち体験就労利用者数	障害福祉サービス等へのつなぎ	支援終了
82人	58人	14人	10人	22人

## 5 事業実施のポイント

Point ～ゴールは“就労”ではなく“自立（〇〇続ける力）”～  
 “ワクワク感” “責任感” “連帯感” “短期間” を軸にメニューを開発。能動的な活動を支援する。



“人数を集めるセミナー”を開催することは一切考えず、“相談者に必要な能力醸成の場”を生み出すことに集中している。その際、相談者自らが“こうなりたい”というイメージ＝目標を細分化し、セミナーのテーマにする。その結果、同じテーマを必要とする方々が自然と集まり、“共感する場”へ変化し、最終的に動機付けへつなげる。

【社会参加】100人ダンス



【社会参加】にゅ～盆踊り



【セミナー】夏バテ対策料理講座



## 6 取り組んで良かったこと

支援メニューがオーダーメイド＝“自分の関心事”であるため、能動的に活動に取り組むことができる。その結果、活動の成果にも納得感（成功体験）が伴い、他の活動に対しても意欲的になるという好循環が生まれている。